

令和6年度

江北町一般会計・下水道事業会計
事業説明書

佐賀県 江北町

目 次

I	一 般 会 計		
	議 会 事 務 局	1
	総 務 政 策 課	2
	健 康 福 祉 課	4
	地 域 振 興 課	5
	基 盤 整 備 課	1 1
	こ ども 教 育 課	1 5
II	下 水 道 事 業 会 計	1 9

一 般 会 計

議 会 事 務 局

(庶務係)

款	1. 議会費	項	1. 議会費	目	1. 議会費	事項別	33
事業名	議会費(ペーパーレス会議システム導入事業)					区分	新規
本年度当初予算額	2,126	本年度当初予算 財源内訳	国			(単位:千円)	
前年度当初予算額	-		県		その他		
差引増減	2,126		町債		一般財源		2,126

1. 事業の目的・概要

議案書、議会関連資料を電子データ(ペーパーレス)で集積し、タブレット端末を活用して、共有するペーパーレス会議システムを導入することで議会運営の円滑化、効率化を図る。

■ ペーパーレス会議システム導入により期待される効果

- 従来の紙資料を電子データ化(ペーパーレス)し、タブレット端末で管理するため膨大な資料を保管し、携行することが可能となり議員活動の活性化が図られる。
- 必要な資料の検索が容易となり、また資料の視認性が高められ会議の効率化が図られる。
- データで受け渡しが可能となるため、いつでも資料等を受け取ることができる。
- 煩雑な資料の編纂作業、議案書配布等の労務が軽減される。

2. 予算内訳

○ペーパーレス会議システム導入事業に要する経費： 2,126千円

費目		予算額
10 需用費	消耗品費(タブレット操作用ペンシル・HDMIアダプター)	246 千円
12 委託料	ペーパーレス会議システム導入業務委託料(初期設定・操作説明会)	763 千円
13 使用料及び賃借料	タブレット端末リース料	539 千円
	ペーパーレス会議システムライセンス使用料	578 千円
合計額		2,126 千円

3. 事業スケジュール

- 令和6年 4月 タブレット端末リース 入札・契約
- 7月 ペーパーレス会議システム プロポーザル・契約
- 9月末 タブレット端末リース納入/ペーパーレス会議システムセットアップ作業完了
- 10月～11月 操作説明・研修会
- 12月 12月定例会よりペーパーレス会議システムによる議会

總務政策課

(安全安心係)

款	2. 総務費	項	1. 総務管理費	目	7. 交通安全対策費	事項別	47
事業名	交通安全対策事業 (江北町自転車用ヘルメット購入費補助金)					区分	継続
本年度 当初予算額	200	本年度 財源内訳 当初予算	国			(単位:千円)	
前年度 当初予算額	-		県		その他	200	
差引増減	200		町債		一般財源		

○ 事業の目的・概要

改正道路交通法の施行により、令和5年4月1日から自転車利用者のヘルメット着用が全世代へ努力義務化されたことに伴い、令和5年7月からヘルメットの購入費用補助を開始した。令和6年度は、ヘルメットの装着率を更に向上させ自転車事故による被害を軽減させることを目的として、自転車用ヘルメットの購入費用の補助を行う。

○ 事業内容

江北町在住の方を対象として、新規にヘルメットを購入した場合に2,000円を上限として助成する。
ヘルメットの購入金額が2,000円を超えない場合は、購入実費分を助成する。

○ 当初予算額

18.負担金補助及び交付金 2,000円×100個 = 200 千円

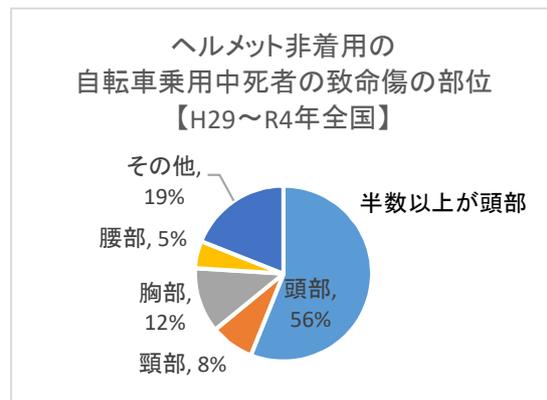
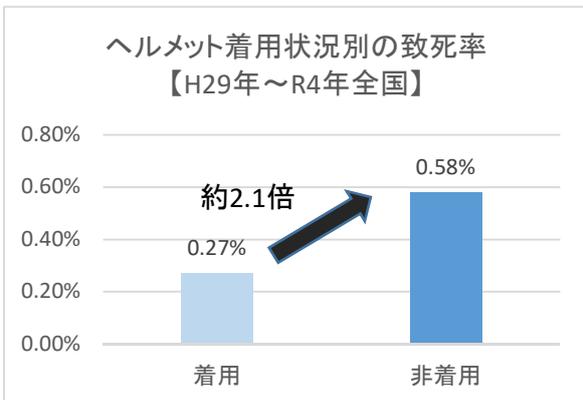
○ 特定財源

ふるさと応援基金繰入金 200 千円

○ 令和5年度の申請状況(令和5年7月～令和6年1月末現在の申請数)

年代	人数	割合	申請月	人数
10歳未満	24人	40.5%	7月	16人
10代	6人		8月	10人
20代	0人	12.2%	9月	8人
30代	4人		10月	17人
40代	2人		11月	9人
50代	3人		12月	10人
60代	10人	47.3%	1月	4人
70代	15人		合計	74人
80代	10人			
合計	74人	100%		

(月平均:10.5人)



款	9. 消防費	項	1. 消防費	目	1. 非常備消防費	事項別	147~149
事業名	非常備消防一般管理費(消防操法大会、合同ラッパ吹奏会(仮称))					区分	新規
本年度当初予算額	2,867	本年度当初予算 財源内訳	国			(単位:千円)	
前年度当初予算額	-		県		その他		
差引増減	2,867		町債		一般財源	2,867	

1. 令和6年度 佐賀県消防操法大会 小型ポンプ操法について

① 事業の目的・概要

地域防災体制の充実・活性化を目指して、令和6年度佐賀県消防操法大会の小型ポンプ操法の部に出場するため、重点的に訓練を実施することにより、消防団の消防技術の向上と士気の高揚を図る。

- ・開催予定日 令和6年7月28日(日)
- ・場所 佐賀県消防学校
- ・出場隊 江北町消防団選抜選手(5名)
- ※6月より訓練開始予定
- ※前回出場は平成21年度

② 予算内訳

- ・報酬 出勤報酬(基本訓練、操法訓練30日間) 1,436千円
- ・需用費 出場隊消耗品 515千円

2. 杵藤地区合同ラッパ吹奏会(仮称)について

① 事業の目的・概要

来年度開催予定の杵藤地区合同ラッパ吹奏会(仮称)に出場するため、重点的に訓練を実施することにより、消防団のラッパ吹奏技術の向上を目指す。

- ・開催予定日 令和6年10月27日(日)
- ・場所 嬉野市中央公園
- ・出場隊 江北町消防団ラッパ部(20名参加予定)
- ※9月より訓練開始予定

② 予算内訳

- ・報酬 出勤報酬(ラッパ訓練20日間) 836千円
- ・報償費 指導者謝金 80千円



健康福祉課

(福祉係)

款	3. 民生費	項	2. 児童福祉費	目	2. 児童措置費	事項別	87
事業名		児童手当負担事業				区分	継続
本年度当初予算額	202,870	本年度当初予算 財源内訳	国	141,772	(単位:千円)		
前年度当初予算額	180,690		県	30,548	その他		
差引増減	22,180		町債		一般財源	30,550	

○ 事業の目的・概要

児童を養育している者に児童手当を支給することにより、家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次世代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的としている。

○ 特定財源の内容

児童手当国庫負担金(国) 141,772千円
 児童手当県負担金(県) 30,548千円

○ 拡充内容

「こども未来戦略」(令和5年12月22日閣議決定)に基づき下記のとおり拡充する。

- ①所得制限の撤廃
- ②高校生年代までの支給期間の延長
- ③多子加算について第3子以降3万円

	拡充前(～令和6年9月分)	拡充後(令和6年10月分～)
支給対象	中学校修了までの児童 (15歳到達後の最初の年度末まで)	高校生年代までの児童 (18歳到達後の最初の年度末まで)
所得制限	限度額:960万円(年収ベース、夫婦と子2人) ※年収1,200万円以上の者は対象外	所得制限なし
手当月額	【3歳未満】 一律 15,000円 【3歳～小学校修了】 第1子・第2子 10,000円 第3子以降 15,000円 【中学生】 一律 10,000円 【所得制限以上(特例給付)】 一律 5,000円	【3歳未満】 第1子・第2子 15,000円 第3子以降 30,000円 【3歳～高校生年代】 第1子・第2子 10,000円 第3子以降 30,000円
受給資格者	・監護生計要件を満たす父母等 ・児童が施設に入所している場合は施設の設置者等	同左
実施主体	市区町村(法定受託事務) ※公務員は所属庁で実施	同左
支払期月	3回(2月、6月、10月) ※各前月までの4ヶ月分を支払	6回(偶数月) ※各前月までの2ヶ月分を支払

地 域 振 興 課

(商工係・農政係)

款	2. 総務費	項	1. 総務管理費	目	5. 企画費	事項別	45
事業名		ふるさと納税推進事業費				区分	継続
本年度当初予算額	749,689	本年度当初予算 財源内訳	国			(単位:千円)	
前年度当初予算額	741,618		県		その他	749,689	
差引増減	8,071		町債		一般財源		

○事業の目的・概要

ふるさと納税制度を通じて町特産品の魅力を知ってもらい、事業者や特産品のファンを増やしながら、町の取組みに共感し、応援してくれる人との繋がりを広げるとともに、地方創生の取組みに必要な財源を確保する。

寄附額増収のため町商工会と連携し、商工事業者におけるふるさと納税登録事業者開拓や返礼品拡大等に取組み、事業者の販路・収益の拡大を後押しする。

また、令和6年度の目標寄附額は12億円とし、その達成のために新商品の開発や新たな事業者の開拓、効果的な広告等を利用し、一人でも多く江北町のファンを増やす取組みを推進する。

年度	寄附額・目標額	主な取組
令和4年度	寄附額 10億5,354万2千円	<ul style="list-style-type: none"> ・返礼品造成(米・肉取扱量拡大、新たな返礼品種取扱い) ・ポータルサイト構成の充実 ・楽天RPP広告 ・レビューキャンペーン ・カタログ作成 ・ポータルサイト拡大(ふるなび、ANA、au、セゾン) ・ポータルサイト内での江北町紹介広告 ・博多駅サイネージ広告
令和5年度	寄附額 8億6,076万1千円 (12月末日時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・町商工会特産品販路拡大補助金 ・返礼品造成(米・肉取扱量拡大、新たな返礼品種取扱い) ・ポータルサイト構成の充実 ・楽天RPP広告 ・カタログ作成(リピーター確保) ・ポータルサイト内での江北町紹介広告 ・Yahoo!運用型広告配信(バナー広告) ・アフルエントフォーマット広告(高所得者・寄附未経験者に向けた広告)
令和6年度	目標額 12億円	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税登録事業者開拓、新たな返礼品の造成及び既存返礼品の強化により商工事業者における寄附額の増収を図るため、町商工会特産品販路拡大補助金を運用(令和5年度～令和7年度の3か年) 【これまでの取組に加え】 ・主力である米事業者の新規開拓 ・肉事業者の伸長 ・スイーツ系の新たな事業者の開拓及び新商品開発 ・生花(嗜好品)事業者の開拓及び新商品開発 ・楽天RPP広告出稿数の増加

○特定財源の内容

ふるさと応援寄附金

749,689千円

【事業説明】

[地域振興課 商工係]

●令和6年度当初予算におけるふるさと応援基金繰入金(ふるさと納税)充当事業

番号	事業名	業務・工事等名称	充当額
1	災害対策事業	防災マップ整備費	960 千円
2	交通安全対策事業	自転車用ヘルメット 購入費補助金	200 千円
3	広報情報総務費	インターネットラジオ制作 配信業務委託料	924 千円
4	子どもの食事等支援事業	同左	1,000 千円
5	健康ポイント事業	同左	3,120 千円
6	農業基盤整備促進事業	同左	2,686 千円
7	新規就農支援事業	同左	600 千円
8	商工振興費	かえる商品券事業 事務委託料	457 千円
9	地域振興費	ふたつ星歓迎紙袋 こうぼく手帳増刷業務	1,100 千円
10		地域活性化補助金	3,000 千円
11	駅自由通路改修事業	同左	64,000 千円
12	道路維持管理費	江北駅南北ロータリー 区画線整備工事	1,500 千円
13	フリースクール等奨学金	同左	1,480 千円
14	学校給食費助成事業	同左	45,732 千円
合計			126,759 千円

事業説明 [一般会計]

[地域振興課 農政係]

款	6. 農林水産業費	項	1. 農業費	目	3. 農業振興費	事項別	119
事業名	新規就農者育成総合対策事業 (江北町経営発展支援事業費補助金・江北町経営開始資金補助金)					区分	継続
本年度 当初予算額	9,000	本年度 財源内訳 当初予算	国			(単位:千円)	
前年度 当初予算額	1,500		県	9,000	その他		
差引増減	7,500		町債		一般財源		

1 事業の目的・概要

①「経営発展支援事業」

次世代を担う農業者となることを志向する新規就農者に対し、就農後の経営発展のために必要な機械・施設の導入等の取組を支援する。

支援対象者	対象経費	支援額 (補助率)
認定新規就農者 (就農時49歳以下)	○農業機械、施設の導入 ○家畜導入 ○果樹等の新植、改植 ○機械等のリース料 等	事業費上限10,000千円 国1/2、県1/4、自己負担1/4

②「経営開始資金」

新規就農される方に、農業を始めてから経営が安定するまで最長3年間、年間最大1,500千円を交付する。

支援対象者	支援額	補助率
認定新規就農者 (就農時49歳以下)	125千円/月(1,500千円/年) ×最長3年間	国 10/10

2 事業内容及び予算額

①「経営発展支援事業」

(千円)

対象者	対象経費	事業費	負担区分		
			国費(1/2)	県費(1/4)	自己負担(1/4)
A氏	トラクター・ 玉ねぎピッカー 購入	10,000	5,000	2,500	2,500

②「経営開始資金」

B氏 1,500 千円

①+②合計 9,000 千円

3 特定財源の内容

新規就農者育成総合対策事業交付金(県) 9,000 千円

事業説明 [一般会計]

[地域振興課 農政係]

款	6. 農林水産業費	項	1. 農業費	目	3. 農業振興費	事項別	119
事業名	さかの稼げる水田農業推進事業					区分	継続
本年度 当初予算額	4,486	本年度 財源内訳 当初予算	国			(単位:千円)	
前年度 当初予算額	-		県	3,450	その他		
差引増減	4,486		町債		一般財源		1,036

1. 事業の目的・概要

担い手の経営基盤の強化と効率的で安定的な生産体制の確立を図るため、担い手が取り組む低コスト化・高品質化のための革新技術の導入等に必要な機械・施設の整備を支援する。

区分	支援対象	補助メニュー	補助率
低コスト・高品質化 条件整備	○集落営農法人	○水田直播用機械 ○レーザーレベラー ○大豆コンバイン ○大豆不耕起播種機 ○トラクターカルチ	県1/3
	○集落営農組織	○自動操舵システム ○トラクター ○田植機 ○コンバイン	町1/10

2. 予算内訳

18.負担金補助及び交付金 4,486 千円
(千円)

事業主体名	事業内容	事業費	負担区分		
			県費(1/3)	町費(1/10)	自己負担
法人A	レーザーレベラー	2,670	890	267	1,513
法人B	レーザーレベラー	2,670	890	267	1,513
法人C	トラクター	5,403	1,670	502	3,231
計		10,743	3,450	1,036	6,257

3. 特定財源の内容

・さかの稼げる水田農業推進事業費補助金(県) 3,450 千円

【事業説明】 [一般会計]

[地域振興課 農政係]

款	6. 農林水産業費	項	1. 農業費	目	4. 園芸振興費	事項別	121
事業名		園芸振興費(さが園芸888整備支援事業)				区分	継続
本年度 当初予算額	40,425	本年度 財源内訳 当初予算	国			(単位:千円)	
前年度 当初予算額	6,661		県	33,362	その他		
差引増減	33,764		町債		一般財源	7,063	

1. 事業の目的・概要

農業者が行う園芸農業の確立に必要な施設・機械等の整備に要する経費の補助を行うことにより、農業所得向上に向けた収量・品質の向上や経営規模の拡大、経営コストの削減などを図ることができる。

2. 予算内訳

18.負担金補助及び交付金 40,425 千円

(千円)

事業主体名	事業内容	事業費	負担区分		
			県費(1/3)	町費(1/10)	自己負担
たまねぎ生産者 1戸	排水対策用機械	1,244	414	125	705
キク生産者 1戸	選別機	9,104	3,034	911	5,159
たまねぎ生産者 1戸	選別機	1,302	434	131	737
きゅうり生産者 1戸	軽量鉄骨ハウス	58,960	※ 29,480	5,896	23,584
計		70,610	33,362	7,063	30,185

※ 新規就農者のみ県1/2補助

3. 特定財源の内容

・さが園芸888整備支援事業費補助金(県) 33,362 千円

款	6. 農林水産業費	項	1. 農業費	目	6. 農地費	事項別	125
事業名	地域農業水利施設ストックマネジメント事業					区分	継続
本年度当初予算額	7,272	本年度当初予算 財源内訳	国			(単位:千円)	
前年度当初予算額	11,110		県	5,040	その他	2,181	
差引増減	△ 3,838		町債		一般財源	51	

1. 事業の目的・概要

既存施設の有効活用の観点から農業水利施設の長寿命化を図るため、施設の機能診断に基づく予防保全的な機能保全対策を実施し、ライフサイクルコストの低減や財政負担の平準化を図る。

2. 予算内訳

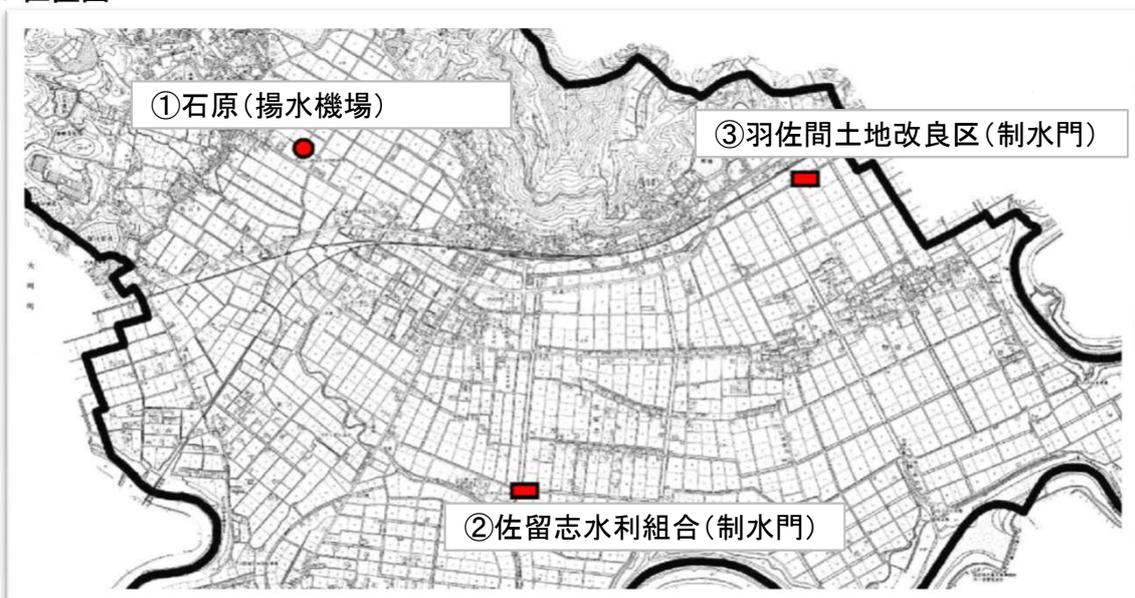
14.工事請負費 7,272 千円
(千円)

No.	事業主体	工事内容	事業費	負担区分		
				県費(70%)	町費	受益者分担金(30%)
①	石原	揚水機場(嵩上)	2,525	1,750	18	757
②	佐留志水利組合	制水門(補修)	1,717	1,190	12	515
③	羽佐間土地改良区	制水門(補修)	3,030	2,100	21	909
計			7,272	5,040	51	2,181

3. 特定財源の内容

- ・地域農業水利施設ストックマネジメント事業補助金(県) 5,040 千円
- ・地域農業水利施設ストックマネジメント事業受益者分担金 2,181 千円

4. 位置図



基 盤 整 備 課

(耕地係・土木係)

款	6. 農林水産業費	項	1. 農業費	目	6. 農地費	事項別	123
事業名	農道・水路管理費(草場ため池底板コンクリート打設工事)					区分	新規
本年度当初予算額	1,276	本年度当初予算 財源内訳	国			(単位:千円)	
前年度当初予算額	-		県		その他		
差引増減	1,276		町債		一般財源	1,276	

1 事業の目的・概要

草場ため池の流入口が洗堀されており、下地が現れている状況となっている。周辺のブロック積基礎へ洗堀が広がり周辺部へも影響が見られるため、コンクリートを打設し施設の維持を図りたい。

2 予算内訳

14. 工事請負費

1,276 千円

3 現在の状況

位置図



現況写真



事業説明 [一般会計]

[基盤整備課 土木係]

款	8. 土木費	項	2. 道路橋梁費	目	2. 道路維持費	事項別	137
事業名	通学路交通安全対策事業(町道門前～畑川線)					区分	継続
本年度当初予算額	67,023	本年度当初予算 財源内訳	国			(単位:千円)	
前年度当初予算額	89,031		県		その他		
差引増減	△ 22,008		町債	62,000	一般財源	5,023	

1 事業の目的・概要

当該路線は、地域の生活道路及び通学路又は未就学児が利用する道路となっているが、日中の交通量が多いにもかかわらず、道幅がせまく、離合すら困難な状況にある。このため、道路を拡幅し、交通の円滑化を図るとともに新たに歩行空間を設けることで歩行者や自転車の安全を確保する。

2 予算内訳

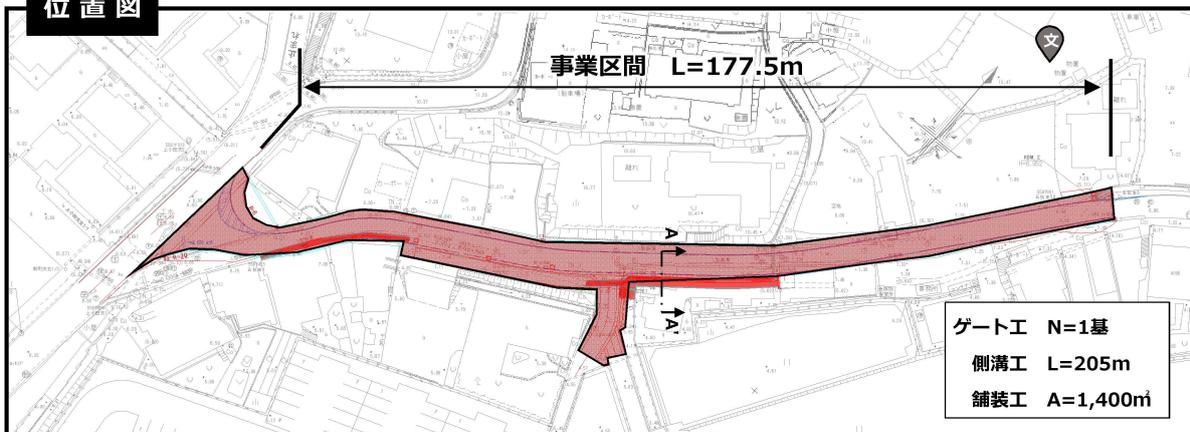
14. 工事請負費 道路改良・舗装工 67,023 千円

3 特定財源の内容

過疎対策事業債(町債) 62,000 千円

4 位置図等

位置図

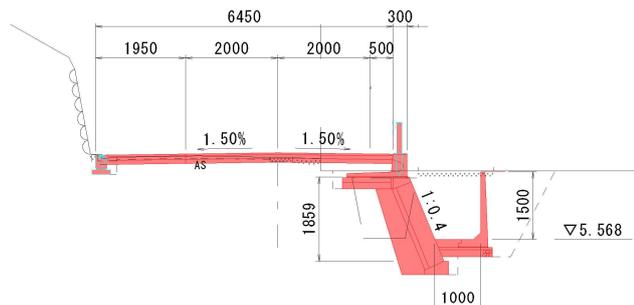


整備イメージ

現況写真



断面図 (A-A')



款	8. 土木費	項	2. 道路橋梁費	目	2. 道路維持費	事項別	137
事業名	通学路交通安全対策事業					区分	継続
本年度当初予算額	29,779	本年度当初予算 財源内訳	国	15,632	(単位:千円)		
前年度当初予算額	29,742		県		その他		
差引増減	37		町債	11,000	一般財源	3,147	

1 事業の目的・概要

通学路や未就学児が利用する道路等の生活道路において、交差点及び路側帯のカラー舗装化など用途に応じた効果的な対策を実施し、ドライバーの視認性向上や通行車両の速度抑制を図り、歩行者・自転車の安全を確保する。

2 予算内訳

14. 工事請負費 N=5路線 29,779 千円

3 特定財源の内容

社会資本整備総合交付金(通学路交通安全対策交付金)(国) 15,632 千円
 過疎対策事業債(町債) 11,000 千円

4 位置図等



現況写真



款	8. 土木費	項	2. 道路橋梁費	目	2. 道路維持費	事項別	139
事業名	緊急自然災害防止対策事業					区分	継続
本年度当初予算額	6,295	本年度当初予算 財源内訳	国			(単位:千円)	
前年度当初予算額	3,586		県		その他		
差引増減	2,709		町債	6,000	一般財源	295	

1 事業の目的・概要

近年、災害が激甚化・頻発化する中、災害発生の予防・拡大防止を目的とした防災対策を実施することにより、道路の安全性を強化する。

2 予算内訳

14. 工事請負費 N=3路線 6,295 千円

3 特定財源の内容

緊急自然災害防止対策事業債(町債) 6,000 千円

4 位置図等

位置図



現況写真



こども教育課

(小学校・国スポ推進係・生涯学習係・学校教育係)

款	10. 教育費	項	2. 小学校費	目	1. 学校管理費	事項別	161
事業名	小学校管理費(内線電話機リース)					区分	新規
本年度当初予算額	125	本年度当初予算 財源内訳	国			(単位:千円)	
前年度当初予算額	-		県		その他		
差引増減	125		町債		一般財源	125	

○ 事業の目的・概要

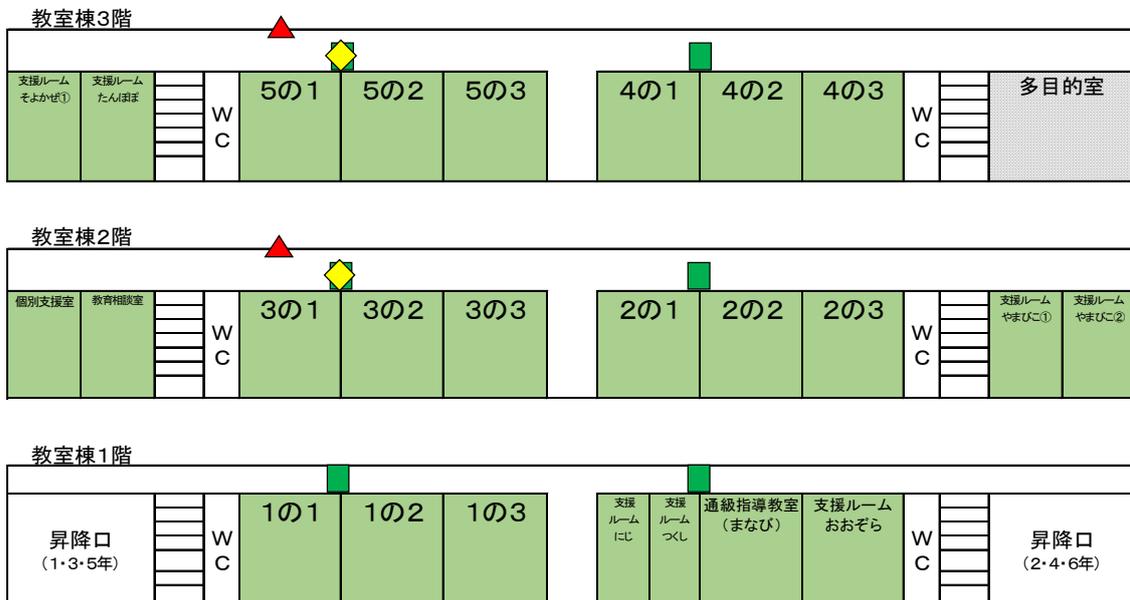
現在、小学校には管理棟・教室棟の各階2ヶ所ずつ、廊下にインターフォンを設置している。教室棟2階西側及び3階西側のインターフォンが聞こえづらい状況であるため、内線電話の子機を設置することで対応したい。

○ 予算内訳

13.使用料及び賃借料

125千円

○ 設置箇所



- ◆ 新設内線電話
- インターフォン
- ▲ アンテナ

款	10. 教育費	項	6. 保健体育費	目	1. 保健体育総務費	事項別	181
事業名	SAGA2024国民スポーツ大会事業					区分	継続
本年度当初予算額	79,089	本年度当初予算 財源内訳	国			(単位:千円)	
前年度当初予算額	11,578		県	33,998	その他		
差引増減	67,511		町債		一般財源	45,091	

1 事業の目的

スポーツ基本法(平成23年法律78号)の規定に基づき、今大会から改称された「SAGA2024国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会」を開催する。多くの方に国内トップアスリートの素晴らしい競技に触れてもらい、この大会を契機として更なる町内におけるスポーツの振興を図るとともに、選手や来場者に向けたおもてなしを通じて広く町のPRを図る。

併せて、多くの方に大会運営やボランティアに広く参加してもらい、地域が一体となって盛り上げることににより記憶に残る大会を作り上げる。

2 開催競技

	3B体操【デモンストレーション】	ソフトボール成年女子【正式競技】
概要	国スポの機運醸成を図るため、3B体操のデモンストレーションを披露する。 また、一般の参加者も3B体操を体験し、誰もが無理なく、楽しみながらできるスポーツであることをPRする。	地区ブロック予選を勝ち抜いた強豪12チームに佐賀県チームを加えた13チームが頂点を目指して熱い戦いを繰り広げる。
会期	5月12日(日)	10月12日(土)~14日(月・祝) 7試合
会場	ネイル多目的ホール	江北中学校グラウンド(1面)
出場者	競技団体会員:150人	地区ブロック予選勝者:12チーム 佐賀県チーム:1チーム 計13チーム
実施内容	<input type="checkbox"/> 競技会場の設営 <input type="checkbox"/> 競技の運営 <input type="checkbox"/> 参加記念品提供等のおもてなし	<input type="checkbox"/> 競技会場の設営 <input type="checkbox"/> 競技の運営 <input type="checkbox"/> 物産品提供などのおもてなし <input type="checkbox"/> 体験ブースの運営
主な経費 <small>※人件費を除く</small>	○ 競技設備・運営 291千円 ○ 消耗品 307千円 ○ 事務費 1,605千円	○ 競技設備・運営 64,156千円 ○ 消耗品 5,320千円 ○ 事務費等 3,152千円



3B体操演技



ソフトボール競技会場



おもてなし・物販ブース

3 特定財源の内容

SAGA2024新しい大会に向けた市町運営経費補助金(県)

33,998千円

款	10. 教育費	項	6. 保健体育費	目	2. 体育施設費	事項別	183
事業名	花山球場管理費(花山球場維持管理委託)					区分	継続
本年度当初予算額	1,122	本年度当初予算 財源内訳	国			(単位:千円)	
前年度当初予算額	1,122		県		その他		
差引増減	-		町債		一般財源	1,122	

1. 事業の目的・概要

町内在住者が花山球場を最優先で利用できるよう、令和6年度から利用及び管理方法の変更を行う。

花山球場利用状況

年度	R3	R4	R5(12月末時点)
利用者数	3,548人	3,992人	4,536人

(参考)R4年度の町内利用団体数は、27団体中6団体(22.2%)

2. 以前までとの変更点

①利用方法の変更

- ・町内団体の予約を最優先に入れるようにする。(町内団体3ヶ月前、町外団体2ヶ月前)
- ・佐賀魂の予約は、町外団体と同様の扱いとする(2ヶ月前)

②管理方法の変更

- ・令和5年度までの業務内容について実施回数を増やす。

3. 委託内容

花山球場維持管理委託

	令和5年度	令和6年度
1.芝刈り管理(処分含む)	適宜	月1回
2.施肥散布(5月・9月)	年2回	年2回
3.芝専用除草剤の散布(2月)	年1回	年1回
4.トイレ掃除	適宜	週1回
5.球場内清掃(内・外)	適宜	週1回

4. 予算内訳

公共施設等維持管理委託料(うち花山球場維持管理委託)

1,122千円

款	10. 教育費	項	6. 保健体育費	目	3. 学校給食施設費	事項別	187
事業名	給食センター管理費(ボイラー更新工事)					区分	新規
本年度 当初予算額	12,409	本年度 財源内訳 当初予算	国			(単位:千円)	
前年度 当初予算額	-		県		その他		
差引増減	12,409		町債		一般財源	12,409	

1. 事業の目的・概要

学校給食を安定的に提供するため、ボイラー設備の更新を行う。
 平成13年給食センター設立時に設置していたボイラー設備(耐用年数12~15年)は、
 教育委員会施設修繕・工事計画において令和8年度に更新を予定していたが、設置後22年を
 経過しメーカー保証が令和6年7月になくなるため、計画を前倒して既存設備と同仕様で更新
 する。

2. 予算内訳

14. 工事請負費 12,409千円

3. その他特記すべき事項

ボイラー本体2台及びボイラーに接続する周辺装置・配管を更新する。 ※工期:2ヶ月程度

- ・ボイラー本体(水を蒸気にする能力:時間当たり500kg) 2台
- ・排気筒、薬注装置 2台
- ・ドレン回収装置、軟水装置等



下水道事業会計

【事業説明】 [下水道事業会計]

[基盤整備課 下水道係]

款	1. 下水道事業費用 1. 資本的支出	項	1. 営業費用 1. 建設改良費	目	1. 管渠費 1. 下水道建設改良費	事項別	299 307
事業名	公共下水道施設ストックマネジメント事業					区分	継続
本年度 当初予算額	27,050	本年度 財源内訳 当初予算	国	11,400	(単位:千円)		
前年度 当初予算額	57,075		県		その他	4,450	
差引増減	△ 30,025		町債	11,200	一般財源		

1. 事業の目的・概要

下水道施設の老朽化が進み、今後は維持管理費・改築費の増大が懸念されている。このことから、施設の重要度による優先順位付けを行いながら、長期的な視点で下水道施設(ストック)全体を適正かつ効率的に管理する必要がある。施設の点検・調査、修繕・改築を計画的に実施することにより、施設の機能確保とライフサイクルコストの最小化、予算の最適化を図る。

2. 主な予算内訳

節	予算額(千円)	主な事業内容
12.委託料	15,400	管路点検調査業務委託(4,000千円) 監視設備改築詳細設計業務委託(11,400千円) →監視制御設備の更新設計
13.工事請負費	11,650	マンホールポンプ場機械・電気設備改築工事(7,900千円) →汚水ポンプ更新 (下写真参照①) →水位計更新 (下写真参照②) 管路施設改築工事(3,750千円) →真空弁(付属品含む)更新 (下写真参照③)

3. 主な特定財源の内容

- ・社会資本整備総合交付金(防災・安全交付金)(国) 11,400 千円
- ・公共下水道事業債(町債) 11,200 千円
- ・他会計補助金 4,450 千円

4. 主な改築予定施設



①汚水ポンプ
(山口汚水幹線2号MP)



②水位計
(岳1号・石原1号MP)



③真空弁
(八町地区)

